

令和4年度外国語科目成績優秀者表彰式

外国語教育センターでは、毎年外国語科目成績優秀者の表彰を行っています。
令和4年度の松江キャンパスならびに出雲キャンパスの成績優秀者の表彰対象者は以下のとおりです。

【英語】

TOEIC-IP 松江キャンパス最高得点者 上位4名

TOEIC-IP 松江キャンパス学部優秀者 各2名

TOEIC-IP 出雲キャンパス最高得点者 1名

TOEIC-IP 出雲キャンパス 医学科, 看護学科 優秀者 各1名

備考) 松江キャンパス最高得点者に関しては、第3位の同点者が2名出たので、4名の表彰となります。

法文学部, 総合理工学部に関しては、第2位の同点者が2名出たので、各3名の表彰となります。

【初修外国語】

ドイツ語Ⅰ, ドイツ語Ⅱ(2科目) 全学総合最高得点者 上位3名

フランス語Ⅰ, フランス語Ⅱ(2科目) 全学総合最高得点者 上位3名

中国語Ⅰ, 中国語Ⅱ(2科目) 全学総合最高得点者 上位3名

韓国・朝鮮語Ⅰ, 韓国・朝鮮語Ⅱ(2科目) 全学総合最高得点者 上位3名



英語

～成績優秀者から後輩へのメッセージ～

TOEIC IP 高得点部門第1位・フランス語 第1位 法文学部 K・Aさん

○英語学習に対する思い

今までの中学や高校での英語学習は楽しくなかった、と感じる人も多いかもしれませんが、個人的に、文法と語彙を学ぶことはどの言語を学んでいく上で重要ですし、高校で学ぶ難しい文法もTOEICで長文を早く読解するために（途中で『あれ?』と躓かないために）覚えておいたほうが良いと思います。また、自分がこれから受けるテストに慣れることも重要だと思います。

○学習方法など

上の項で、語彙や文法が云々と述べましたが、机や本、もしくは電子機器に向かってひたすら勉強するだけ、というのも退屈だと思います。そこで、僕がやった方法をいくつか紹介します。

・自分が興味のある内容で、今学んでいる外国語の動画、文章などに触れる

やはり、自分にとって楽しいコンテンツで学ぶ方がモチベーションが保てると思います。ぜひYoutubeやRedditなどで探してみてください。また、その際、わからない単語や表現を調べましょう。特に、動画ではその言語の字幕に対応している場合、その字幕もつけば「ここはこう喋っていたんだな。」と理解ができ、リスニングの助けになると思います。

・語学を学ぶアプリを使う

Google playやApple storeなどで探せば様々なアプリが見つかると思います。例えば、僕は今Duolingoというアプリを使っています。このアプリは、書く、読む、聞く、話す練習ができて、モチベーションを保つ様々な工夫もなされています。また、2022年7月時点で英語、フランス語、韓国語、中国語の4つを学ぶことができます（英語版では、ドイツ語やスペイン語等、他の言語も学べます）。中学校の英語も怪しい、という人には英語を、第二外国語にはじめて触れる、という人にはその言語を学んでみてください。

○最後に

ぜひ、大学で外国語をしっかりと学んで、外国に関する様々なイベントに参加してみてください。斯くいう僕も、積極的にこれらのことをしているわけではありませんが、「当たって砕ける」の精神は大事だと思います。いろんな経験が、社会をはじめとする色んな場面での外国語の活用につながると思います。

TOEIC IP 高得点部門第2位 人間科学部 S・Yさん

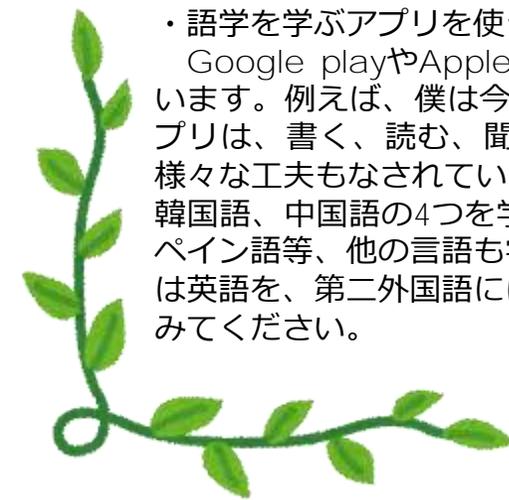
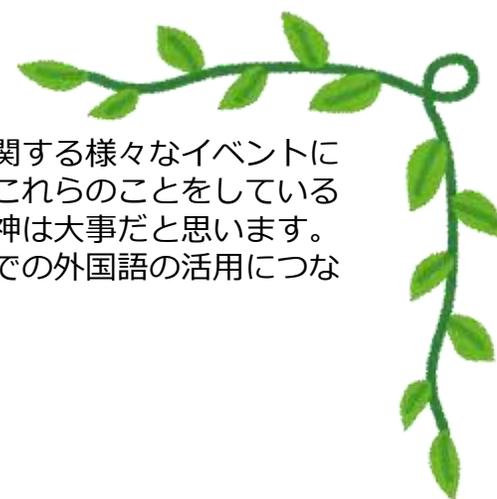
私は、語学の勉強は、その言語に触れる頻度によって上達の差が大きく現れると考えています。そのため、私はバス通学だったこともありますが、すきま時間に単語の勉強をしたり、毎日英語の動画をみる、又は洋楽を聴いたりして、できるだけ毎日外国語に触れる時間を多くとっていました。

私の行ったTOEIC対策は、ひたすら過去問を解くことです。みなさんは大学受験のために、ある程度英語の基礎力を固められてきたことと思いますが、TOEICと共通テストの英語の大きく異なる点は、出題される単語と、情報処理の仕方です。

高校時代必死に覚えた単語だけでなく、TOEICでは、TOEICに特有な単語が当たり前のように出題されます。そのため、授業中に習った未知の単語や、過去問を解いている中で出会った新しい単語を1つのノートにまとめ、すきま時間に覚えるといった勉強法が有効だと思います。

また、初めてTOEICを受験した際にほぼ全員が経験するのは、圧倒的な時間の足りなさだと思います。必要な情報を最短時間で読み取る力、そして稀に、分からない問題を飛ばす勇気も必要になってきます。これらの力は、何度も過去問を解くことによって、徐々に身についてくると思うので、頑張ってください。

島根大学附属図書館には、TOEICの過去問題集が充実していますので、図書館を活用するのも良い方法だと思います。応援しています。



TOEIC IP 高得点部門第3位 総合理工学部 A・Eさん

苦手から得意へ

みなさんこんばんは！多くの人が英語って出来たらよいなあ、けどどうしたらよいのか分からないと思っていることでしょうか。私もそのうちの一人で、海外憧れちゃう系男子として高校3年生まで体系的な英語の学習を続けていました。しかしそう簡単に実力が伸びるわけでもなく、テストは毎回赤点を取りこぼすことなくとっていました。そんなこんなで大学受験も失敗、いろいろ悩んだ結果浪人することを決め、各科目をどのようにこなしていくか自分なりの方法を模索しました。その中でも英語はリスニング、長文、穴埋め、文法など各分野でやることが多くかなり悩みました。でも私は根本的に英語の学習方法を変える必要があると感じ、好きな洋画を場面ごとに分け何回かシャドーイングしたり、聞き流したりすることを始めました。これのメリットは生きた英語をノンバーバルコミュニケーションとともに結び付けて聞くことが出来ることです。こうすることで英語を聞いたときや読んだときに、多少分からない単語があってもその時の情景を思い浮かべることが出来るようになるのです。こうしたことは他のnetflixなどのドラマでも行いました。でも見ていて面白いから全く苦にならなかったのです。さらに英語の表現（例えば、Give it a shot は単純に考えると“それを撃つ”という意味になりますがこれは比喻表現で“試してみな”という意味になります。“試してみる”が“その一発がうまいこと当たるかもよ”という意味からきているのです。）などは日本の“ちりも積もれば山となる”のように、おもしろいものがたくさんあります。様々なことでいえることですが、楽しい、そして好きになることが上達の第一歩。自分なりに楽しい学び方を見つけることが得意になる秘訣です。そうすれば継続もしやすくなるでしょう。読んでくれてどうもありがとう！

I believe all you have the power to be better.

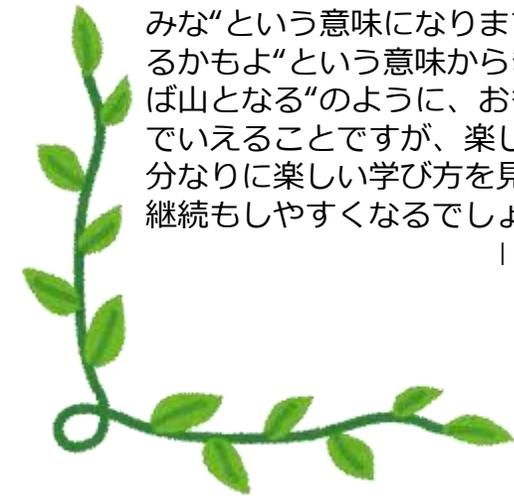
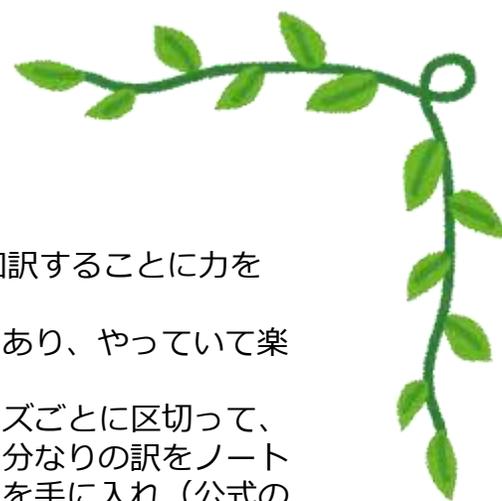
TOEIC IP 学部別優秀者 法文学部 H・Oさん

私は、英語の勉強をするにあたって洋楽の歌詞を和訳することに力を入っていました。

これは私が中学生のころから実行していた勉強法であり、やっていた楽しいので飽きっぽい私でも続けていました。

まず、ノートを半分に分けます。次に、歌詞をフレーズごとに区切って、ノートの左側に書き写し、自信がなくてもよいので自分なりの訳をノートの右側に書きます。その作業が終わったら歌詞の和訳を手に入れ（公式の訳・歌詞和訳ブログなどから）、自分の訳に赤を入れて振り返ります。語彙力の向上はもちろん、メロディーに合わせて英語のフレーズを覚えられるので、頭に入りやすく、スラングも知ることが出来るので実用的な英語の勉強ができます。おまけに、歌詞を知ることによってその曲をより流ちょうに歌えるようになるので、発音能力の向上も期待できると思います。

あとは、シンプルですが一度「分からない」と感じた単語は見逃さずに、辞書を引くなりして意味を調べるということはやはり大切だと思います。問題演習をして、解いて終わりではなく、問題に出てきた単語を今一度振り返ってみて、分からなかった単語をマークし、意味を調べます。せっかく問題が用意されているのだから、その問題が持ちうる要素すべてから学ぶ姿勢は、語学を学ぶ上で大切だと私は考えています。



TOEIC IP 学部別優秀者 法文学部 S・Kさん

後輩の皆様へ

私の英語の学習についてお話しさせていただきます。私の英語学習は abceed というアプリを使用しました。様々な TOEIC 対策の参考書や問題集が使用可能でありリーディング、リスニング共に対策できるアプリです。TOEIC 試験までの約3ヶ月間毎日このアプリを使用して学習を続けました。

私が英語学習において大切だと思うことは、毎日継続して学習することです。少しずつでもいいので学習習慣をつけることで、テスト本番も実力を発揮することができるのではないかと、思います。また、その上で私にとってこのアプリは短時間で場所を問わず効率的に学習できたため、良い方法だったのではないかと、思います。アプリ内で使用した参考書自体は島大の図書館にも置いてあるものばかりなので、そちらを利用してもいいか、と思います。

私自身も今後も英語学習を頑張りたいと思いますので後輩の皆様も頑張ってください。



TOEIC IP 学部別優秀者・ドイツ語 第1位 法文学部 A・Yさん

私が英語を話せるようになりたいと思ったのは、高校1年生のときにアメリカ人の女の子のホームステイを受け入れたことがきっかけでした。それまでは英会話教室に通っていた幼少期を除き、「話せる英語」よりもリーディングを中心に勉強していました。ですが、いざネイティブの人と会話しようと思ったときに何も言葉が出ず、このままでいいのかと思うようになりました。それ以降、会話で使えるような表現を勉強したり、友達と英会話をしたりするなど、「話せる英語」の習得を目標に英語学習を始めました。

私がおすすめする学習方法は、自分が興味のあることを英語でやってみるということです。例えば、音楽を聴くことが好きなら普段自分が聞く曲に洋楽を加えてみる、ドラマ・映画を鑑賞することが好きなら英語の吹き替えか字幕を利用してみる、漫画が好きなら英語版を読んでみるなどが挙げられます。私の場合、洋楽や英語のYouTubeを聴いたり、英語で書かれている歴史の本を読んだり、ゲーム実況が好きなので英語で実況している動画をYouTubeで観たりしています。これらはできるだけ毎日継続することが大切です。教材を継続してやるのは、かなり負担に感じられることだと思いますが、趣味に英語を取り入れることで、毎日継続しやすくなります。また、少しずつ英語が理解できるようになってくるとやる気にもつながります。つまり、少しでも自分に合った方法を取り入れることが、習慣化・英語力向上への近道になります。上記以外にも、自分のやりやすい方法を模索してみてください。

継続は力なりです。I wish you all will be successful!



私が第二外国語としてドイツ語を選んだ理由は、中学生の時に友人と一緒に勉強したことがあったから、そしてドイツの文化に興味があったからです。

ドイツ語はゲルマン語派なので、英語と似た文法と語彙を有しています。みなさんも学習していてそのように感じたのではないのでしょうか。一方、ドイツ語は、名詞の性や格変化など、文法が英語と比べて複雑だと感じた方もいらっしゃるかと思います。コツとしては、基本的な文法・格変化・人称変化は最重要事項として早めに覚えて、その他ややこしいものは演習を重ねていくうえで徐々に覚えていくと良いです。また、勉強が辛くなったときは、気晴らしにドイツ文化に触れてみてください。ドイツの音楽(おすすめはSportfreunde stillerの"Applaus, Applaus"です)や歴史を調べてみるのもいいですし、松江にはドイツパンのお店があるので、そこを訪れてみるのも良いと思います。

どの第二外国語にも共通することではありますが、言語を習得する際の難点は、自然な会話に触れる機会が英語と比べて圧倒的に少ないことだと思います。もし、授業に加えてドイツ語を勉強したいと考えているなら、習った表現を使って先生と会話したり、積極的にインターネットで無料の教材を使ってみてください。私の場合、必修のドイツ語と並行して

「Deuche Welle」というサイトを使っていました。このサイトはCEFRのレベルごとにコース(A1~C1)が作られており、段階的に学習を進められるうえに、数分のドラマで自然なドイツ語を勉強出来るのでお勧めです。必修を終えた後は、教養科目のドイツ文化の授業や、全額開放科目として法文学部言語文化学科のドイツ語の授業を取るなどして学習を継続することもできます。ぜひ、無料のサイトや大学が提供しているプログラム・講義を大幅に活用してください。

Viel Glück!!

TOEIC IP 学部別優秀者 教育学部 Y・Tさん

大学受験が終わり、皆さん英語に触れる機会が少なくなってきたのではないのでしょうか。これまで、受験で英語が必要だからなどという理由で仕方なく勉強してきた人も多いと思います。大学生になると、これまでと違った目的をもって勉強をしなければなりません。なんのために英語を勉強するのかといったことをしっかりと考えて勉強に取り組むことはモチベーションの維持にもつながります。勉強方法がどうこうだとか、効率がどうこうだとかほざくよりもまずはしっかりと目標を決めて、それに向かってがむしゃらに勉強を続けてみてはどうでしょうか。



TOEIC IP 学部別優秀者 教育学部 H・Tさん

自分の興味のある分野の文章であれば読みやすいのではないのでしょうか。たくさんの文章を読んでみてください。応援しています。

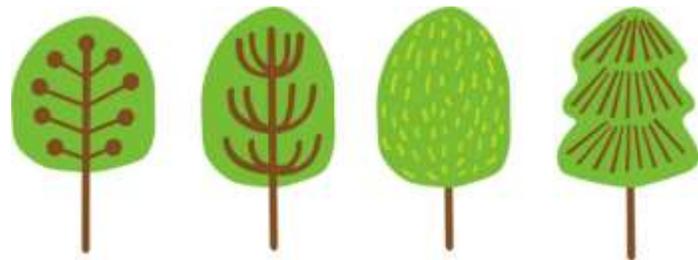
TOEIC IP 学部別優秀者 人間科学部 S・Tさん

私は高校でESS部に所属し、英語は他の教科より勉強していました。英語が特別好きだったわけではなかったのですが、部活でALTの先生と話したり英語でゲームをやったりと、英語を使う活動を楽しみながら行えたことが、英語を嫌いにならないで勉強することにつながったのかなと思います。しかし大学に入ってから、自分の専門分野に関する勉強をする時間が増えて、英語に触れるのは授業中や予習だけになりました。それでも、悪い成績は取りたくなかったので、テスト前やTOEIC受験前は自分が苦手なリスニングを中心に勉強しました。そうやって、苦手な部分だけでも勉強するだけでも、TOEICなどの点数は伸びるのではないかなと思います。ただ一番大事なことは、楽しみながら外国語を学ぶことだと思います。TOEICで良い点を取るよりも、外国の人と楽しく会話できるようになりたいと考える人は、英語 I Bや II Bに力を入れると良いと個人的には思います。英語が嫌いという人も、楽しみながら授業を受けることができると思います。



TOEIC IP 学部別優秀者 人間科学部 M・Yさん

私は1回生の間でTOEICの点数が100点以上上がりました。この要因としては、毎日TOEICのリスニング問題を聞いたり（時間がない時は聞くだけで、時間があるときは解いた）、毎日単語のインプット・アウトプットをしたりしたことが挙げられると思います。リスニングをするときは、本番をしている心持ちでやるのがポイントです。練習だと思ってやると妥協してしまい、一回で理解するという力が付きにくいと思います。また、一回本番と同じように模擬試験をして、どんなタイプの問題が苦手なのか・時間は足りているのか（もし足りていないのならば、何が原因かを把握する）・正解、不正解に関わらず自分が分からなかった問題は何か、そしてその原因は何かなど自分を細かく分析することがTOEICの点数を効率的に上げる最初の一步だと思います。一年間を通して、TOEICの点数をあげるには英語の勉強だけでなく、集中力を2時間持続させる力が必要だなと感じました。私はあまり集中力が続かないタイプなので、英語を勉強する時だけでなく他の授業中にも意識して集中力を持続させる訓練をしました。そして自分が集中するためのルーティーンを作り、2時間自分の力がしっかり発揮できるようにしました。私のルーティーンは、集中したい時の前に、目を閉じるなどしてなるべく五感を減らし、頭の中を空っぽにすることです。



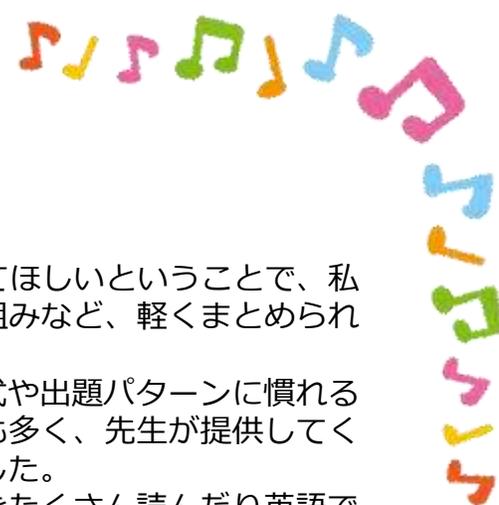
TOEIC IP 学部別優秀者 総合理工学部 K・Oさん

今回、外国語学習に対する思いを後輩に伝えてほしいということで、私のこれまでの英語学習についてや授業への取り組みなど、軽くまとめられればと思います。

私は今までTOEICを受験したことがなく、形式や出題パターンに慣れるのに時間がかかりました。新たに覚える英単語も多く、先生が提供してくださった英単語学習の教材にとっても助けられました。

私は文法をしっかりと覚える、というより英文をたくさん読んだり英語で会話をしたりしているうちに、文の流れとして適切な形が選択できるようになっていったのだと思います。その過程で重点的に行っていたのは、やはり毎日の積み重ねだと思います。英会話を聞く、それをシャドーイングする、好きな小説の英語版を読む、過去問を数問解くなど、毎日継続できる方法は人それぞれ違うと思いますが、何かしらの形で英語を日常的で身近なものにすることで、苦手意識が減るのではないのでしょうか。

他の講義の予習・復習や課題などで大変だとは思いますが、外国語学習を通じて他国を知り、知見を広げるきっかけになるとと思います。





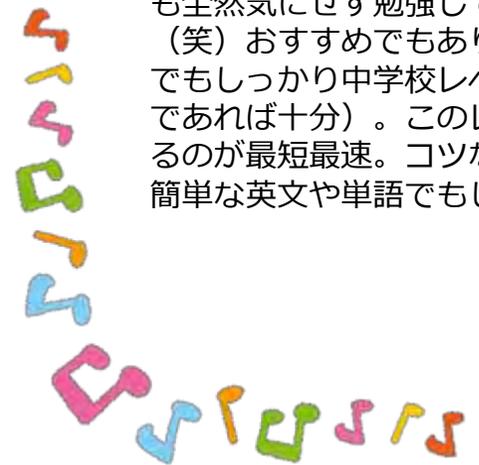
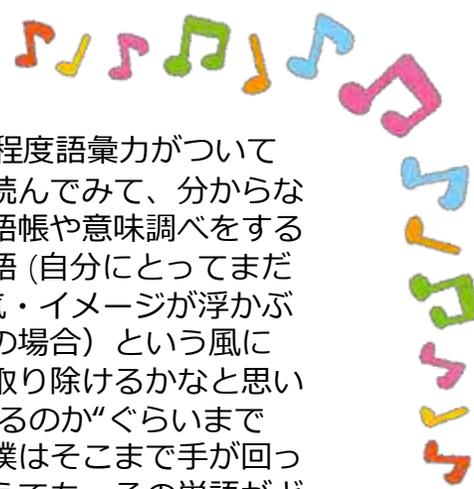
TOEIC IP 学部別優秀者 総合理工学部 R・Yさん

とりあえず、スマホやパソコンの言語を英語にする。→そうすると、少なくとも毎日英語に触れられる。(出来る限り、設定等を色々いじってみたり、単語だけでもいいので英語で検索したりする。)→だんだん(英語) = アルファベットに慣れてきて、3ヶ月位もしたら苦ではなくなってくる。→写真(脳内翻訳して) image, 消去(翻訳) delete, 通知(翻訳) notification という思考ではなくて、image, delete, notification 等スマホで良く使うような単語/機能なら、直感的に翻訳を省いて英語が瞬時に浮かぶようになる。まずはこの感覚をつかむことが大事だと思います。

しかし、ある程度のレベル(中学校の文法レベルは一通りマスターする)でないと、あまり意味がない(=効果が薄い)と思うため、そこまでのレベルに到達していない人は、まずは英検5級からでも、テスト対策を通して強制的にやるしかないと思います。最初はテスト対策の硬い表現や死語等も全然気にせず勉強してもいいと思います(正直、分からないのですが(笑)おすすりでもありませんが、否定的でもありません(笑))。それでもしっかり中学校レベルの基礎を作ることは絶対大切です(逆にそこであれば十分)。このレベルまではとにかく単語帳や文法を我武者羅にやるのが最短最速。コツなんてものではなくて、とりあえず隙間時間に単語帳、簡単な英文や単語でもしっかり音声聴いて真似して発音してみる。

その後は、単語は単語帳を使ってもいいが、ある程度語彙力がついてきたら(高校レベル)、どちらかというと、英文を読んでみて、分からない単語は文脈で推測して、その後答え合わせ的に単語帳や意味調べをする方が定着しやすいかなと思います。英語を見て日本語(自分にとってまだ慣れていない単語の場合)、英語を見て単語の雰囲気・イメージが浮かぶ(慣れてきて自分にとって簡単=慣れ親しんだ単語の場合)という風に徐々に雰囲気で掴む練習をすると頭の中で訳す癖が取り除けるかなと思います。“この単語はこの単語と一緒にNounで使われるのか”ぐらいまでセットで覚えられたら最高だと思います(因みに、僕はそこまで手が回っていません(笑))というのも、単語だけを沢山覚えても、その単語がどういう言葉との組み合わせで使われるのかは(自然な言い方)、実際に文章で使われているものを見るまで僕は分からないので、ReadingかせいでListeningまでしか応用できなくて、SpeakingやWritingではそれが原因で自分は変な組み合わせで使うことが多いからです。

スピーキングやライティングは自分にとっても課題であるが、とにかく勉強したフレーズや単語を使ってみるに尽きる。英語の授業に参加して使ってみたり、言語交換アプリを入れてそこで使ってみたりして、何度も使ってやっと自然に出るようになる。そういう活動を通して、言いたいことが口から出てこないという経験は多分死ぬまであります。ここから、一番重要だと思う事ですが、そういう上手くいかない事があるたびに、必ずメモって、調べて、次に同じことを言うときは必ず言えるようにする習慣を身に付ける必要があると思います。例として、紙などに書いて、ポケットに忍ばせておき、ご飯を食べる前や授業が始まる前、朝起きたとき等、一瞬それを声に出して唱える等は、時間がないと嘆いている人でも必ずできるし、意外とこれが最短だと個人的な体験からも断言します。(最近サボってますが(笑))。



TOEIC IP 学部別優秀者 総合理工学部 M・Kさん

私は、ありがたいことに、生まれてすぐから今までずっと英語に触れさせてもらっているため、感覚的に英語が得意で、英語を他の科目のように勉強したことがありません。参考にならないよと思う人がほとんどだと思うので、私が英語とどのように向き合っているかをご紹介します。まず、授業は特別なことはせず普通に受けています。しかし、英語に限ったことでは無いですが、宿題は欠かさずやり、知らない単語や言い回しが出てきたときにはすぐに調べるというのを鉄則にしています。一回で覚えきれなくても、また出てくるような頻出語であれば、これを繰り返すことで自然と覚えることができます。あとは先生のアドバイス（おすすめの覚え方や練習方法）を素直に聞いて取り入れてみる。課外では、英語の関係する事柄に進んで取り組んでいます。というのも、留学プログラムやランチクラブに進んで参加したり、人と関わること以外にも、なんとなく英語圏のYoutuberを見てみたり、英語で書かれた本を読んだり。特に私は理系の学生で、高校の時から論文を英語で読む必要があり、よくそうしていました。自分の好きな分野は取り組みやすいですよ。とにかく、やりやすい方法で英語に触れてみてください。わからなくても苦痛に思わず（わからないのが当然なので）、楽しんで、継続的にやってみてほしいです。

TOEIC IP 学部別優秀者 生物資源科学部 K・Tさん

毎回の授業の小テスト、まとめテストで高得点を得ることを目標にしてみてください。



TOEIC IP 学部別優秀者 生物資源科学部 K・Mさん

高校の時には毎日単語帳を開き小テストに備えることが当たり前になっており、義務的に英語の勉強をしていましたが、大学に入ってから一週間に一回の授業となり確実に英語を学ぶ時間が減りました。その中で英語の能力を上げるには、どのような形でも毎日英語に触れることであると思います。英語のニュースを聞く、英語の課題をするなど何でもよいと思います。毎日英語に触れているということが重要であると思います。高校の時とは違い自発的にやらなければ英語に触れる機会はありませんが、自発的にやることで義務的にやるよりも吸収が良いのではないのでしょうか。そしてもう一つ重要なこととして、一週間に一回の英語の授業をまじめに受けることも大切だと思います。先生方が私たちの英語力を上げようとしてしっかり計画してくださっていると思うので、授業をまじめに受けることは最も重要なことだと思います。後輩へのメッセージとしては、先ほど述べたことで以上になります。これからの社会で求められる英語力を、これからも挙げていけたらなと思います。

TOEIC IP 高得点部門(出雲キャンパス) 医学科 H・Yさん

英語学習の動機づけ

自分の学科の専門知識だけでは卒業後の競争で生き残れないと思っているので、そのことが英語の勉強の動機づけとなっています。

おすすめしたいこと

リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの何を重視するかは十人十色だと思いますが、個人的には語彙力が英語の各技能の基盤だと思っています（また自分は単純なタスクほど続けやすいので）文字通り毎日やっています。履修している講義で出てきた単語、なにか読んでいてわからなかった単語、見聞きしてカッコよかった言い回し等を単語カードアプリに放り込んで、知っている・扱える表現を少しずつ増やしていくと、4技能の底上げにつながるような気がしています。

TOEIC IP 学部別優秀者(出雲キャンパス) 医学科 M・Nさん

私は小学生時代にインターナショナルスクールに通っていました。そのため、恵まれたことに、幼少期から英語に触れる環境におり、英語というものに対して、机に向かって勉強するものだという意識をあまり持っていなかったという記憶があります。どちらかという英語の歌をみんなで歌ったり、英語の本を読んだり、そういったことをしている中で気づいたら英語が身についていたという感覚が近いかと思います。小学生時代はそのような環境にいた私ですが、中高は普通の学校に進学し、英語の授業は週に2回だけでした。毎日英語に触れていた小学校の時と比べると、英語を使う機会が減り、自分の英語力が格段に落ちていくのを身をもって感じていました。そして、私はこのままではだめだと思い、英語に触れる環境は自分で作っていかなくちゃならない、と思うようになりました。

英語習得のための一番手っ取り早い手段は留学だと思います。英語でしか意思疎通ができない環境に身を置くことで、嫌でも英語は身に付くはずですが、留学ができるというチャンスがある人は是非飛び込んでほしいと思います。ですが、様々な事情により全員が全員留学できるというわけではないと思います。私も中高時代に可能ならば留学をしたいと思っていましたが、金銭面や大学受験を考えると叶いませんでした。なので、そのような人たちは、自分で環境を作っていくしかないと思います。

英語学習の鍵は「継続」です。辛い、とか嫌だ、という気持ちでは相当ストイックな人でないと続かないと思います。私もそういうタイプではないので、自分に合ったやり方を考えて工夫をするということをしてきました。小学生の頃に英語を話していた、と上で書きましたが、小学生の頃なんて、たとえ将来自分のためになるだろうということでも、辛いことや嫌なことはやらないですよ。



継続するためには、やはり「楽しい」と思える気持ちが大変だと思います。これは英語に限らず、どの言語の学習にも共通して言えることなのではないかと思います。私の周りでもK-POPが大好きで独学で韓国語を身につけたという人もいます。私がおすすめるのは、自分の好きなものと絡めてみるということです。例えばゲームが好きな人だったら英語のゲーム実況を見るとか、スポーツが好きな人だったらスポーツ実況や選手のインタビュー映像を英語で見る、などです。私はAmerica's Got Talentなどのオーディション番組を見るのが好きなので、YouTubeでそれを見たり、音楽も好きなので洋楽を聞いて歌詞を見て意味を理解しようとしていたりなどしています。

これでは物足りないな、という人や、もっと学術的なことを！という人はTEDを活用してみることもおすすめします。参考までに私が高校時代にやっていたTED活用法をご紹介します。①まずは字幕無しでどこまで理解できるかを確認する。②次に字幕をつけてどこまで理解できるかを確認する。③意味が分からなかったところや知らなかったフレーズをノートに書き出す&調べる。④スピーチを丸々暗唱できるまでやりこむ。まるで自分のプレゼンであるかのように抑揚や身ぶり手ぶりをつけながら話す。TEDに登壇している人たちの多くは英語のネイティブスピーカーなので、直訳のような不自然な英語ではない、いわゆる「自然な英語」を学べましたし、私はスピーチやプレゼンも得意ではなかったもので、その練習にもなりました。

他に私が行っていることとしては、DMM英会話があります。スピーキング力を伸ばしたいという人はこれを週に何回と決めて続けるだけでだいぶ英語がスラスラ出てくるようになると思います！少しお金はかかってしましますが、留学に行くよりも気持ち的にも金銭的にも始めやすいかと思いますし、投資する価値はあるかと思います！

私の英語学習法はこのような感じです...私にはこの方法が合っていました。他のやり方もたくさんあると思うので、是非色々な人の勉強法を聞いてみてください！一例としてこんな勉強法もあるよ～ということでご紹介させていただきました！

TOEIC IP 学部別優秀者(出雲キャンパス) 看護学科 T・Hさん

私は中学校の頃から英語の塾に通っていました。そこで文法を徹底的に勉強しました。同時に単語帳を使って英単語を覚えていきました。毎週2つの長文と英単語200個、熟語100個をしていきました。そのおかげで長文読解が好きになりました。分からない単語は辞書を引いて調べました。大学生になってからは自分で英語の勉強を続けていきました。TOEICの文法問題集や単語帳を買って、自分でノルマを決めて勉強しました。TOEICは専門的な単語が多く、最初はその単語の意味は分かって、その日本語の意味が分からない、ということがありました。しかし、何度も繰り返すことで徐々に分かるようになっていきました。何事も繰り返すことで、分かるようになっていき、勉強のコツを掴むことができると思うので、自分でコツコツと勉強することが大切だと思います。私は英語をやるのが嫌いではないので、何か課題をやらなといけな時や他の勉強に行き詰った時に勉強のスイッチを入れるためや気分転換として英語の問題を解いていました。やりすぎると嫌いになるというパターンは多くの方が経験にあると思うので、嫌いにならない程度に続けるのもありだと思います。でも、「続ける」ということは大切にしたいです。





初修外国語

～成績優秀者から後輩へのメッセージ～

ドイツ語 第2位 人間科学部 R・Mさん



外国語科目だけでなくどの科目においても、しっかり授業を受けることが一番の勉強法だと思う。授業を真面目に受けないと、その科目の基礎が不十分になり、後になって自分で勉強をしようとしたときに基本的なところで躓いてしまう。特に、初修外国語においては授業で学ぶ基礎が最も重要だと思うので、毎週の授業を大切にして基礎力をしっかり身につけてほしい。最初は覚えることが多く、暗記作業のように感じてしまうかもしれない。暗記が苦手という人も、前回の授業までの内容で思い出せないところがあれば、その時に教科書を見返すように心掛けて少しずつでも覚えていくと良いと思う。また、外国語学習では知らない単語が出てきたらすぐに辞書で調べ、語彙力を鍛えることを意識してほしい。知っている単語が増えることで文章などを読むことが楽しくなり、その後の学習のやる気にもなると思う。そして、授業で少しでも分からないところがあれば、授業後に先生に質問してほしい。小さな疑問をそのままにせず、すぐに先生に聞いて解決することで、勉強に自信が持てるようになると思う。

英語は勿論、初修外国語を学ぶことは、必ず将来どこかで役に立つ時が来ると思う。その言語の国に行くことがあるかもしれないし、その言語を話す友達ができるかもしれない。他の言語を学ぶことで将来の選択肢が増え、人生が豊かになると思う。また、今後外国語を学ぼうと思った時には、自分で学習するしか勉強法がないかもしれないので、授業を受けることができ、友達と一緒に勉強することができる今、大学での外国語学習を大切にしたい。

ドイツ語 第3位 総合理工学部 R・Oさん

私が思うに、外国語学習で大事なことは、学習意欲を掻き立ててそのモチベーションを保つことだと思います。私の母は大学生の頃にドイツ語を学習していて、今でも少しくらいなら話せるようです。ですので、昔から遊びのような形で“Was ist das?”といった簡単なフレーズが日常会話に登場していて、簡単ではありますがドイツ語に慣れ親しんでいました。そのようなことがあってか、ドイツ語に対する興味は他の学生よりも高かったと思います。そして、その興味がいつしか「テストで満点取りたい！」という学習意欲に繋がり、ドイツ語に打ち込むようになったのだと記憶しています。また、ドイツ語を学び始めると、単語や文法などが思ったよりも英語と似ていて、やっていくうちに面白く感じるようになりました。そこで、授業後、復習して授業中に出てきた単語を積極的に覚えたり、教科書の演習問題や先生が作成したmoodle上の課題をやり込んだりしました。その積み重ねが功を奏したのか、結果としてテストで高得点を取ることができ、ある程度授業で学んだ知識を身に着けることができました。

このように、まずは学習する言語に興味を持ち、そして学習や演習を通してモチベーションを保ちながら学びを深めていくことが、私なりの外国語を習得する近道なのだと実感しました。ですので、まずは言語に興味を持ったうえで自分なりのやり方を探し出し、外国語を学習すると良いと思います。

フランス語 第2位 人間科学部 M・Mさん



私は当初、フランス語の学習に興味がある反面、難しいそうだから不安という思いもありました。実際、フランス語を履修することになった人の中で、日本語とは異なる部分の多いフランス語の学習に不安を抱えている人も多いのではないかと思います。けれども、授業では1つ1つ丁寧に教えてもらえるので、不安視しすぎなくても大丈夫だと思います。

私はフランス語の授業時には、教科書にポイントや発音をカタカナで書き込むなどして、自分にとって分かりやすい教科書にすることを心がけていました。テスト勉強時には、主語によって変形する動詞を覚えるために、ノートに書き出したり、暇なときに呪文のように唱えたりしていました。また、教科書に登場した主な形容詞、代名動詞などは、それぞれルーズリーフに書き出して、整理していました。冠詞や動詞の活用などは、分かっているつもりでも間違えることが多いので、テスト時に見直すことが大切だと思います。テスト勉強中は、文法や動詞の活用など覚えるべきことはたくさんあったので大変でした。けれども、1つ1つ自分で整理して理解したことが、分かりやすくテストの点に表れると、達成感がありました。

私がフランス語を学んで良かったとおもうことは、街中のいたるところでフランス語が使われていることに気づくようになったことです。お店の看板や商品名などに、フランス語をよく見かけます。どの言語の学習にも当てはまるのですが、今まで景色として認識していた文字列が、言語として理解できた瞬間には、新たな世界を見つけたような気持ちになります。

フランス語 第3位 人間科学部 H・Kさん

講義は毎回きちんと出席し、なるべく寝たりぼんやりしたりせず真面目に取り組んでいたつもりです。事前課題も出来る限り毎回していました。

そして定期テスト前には、改めて自分なりに授業内容をまとめて（分からなかった単語の意味をオレンジペンで書いて暗記する、本文をさらさらと訳せるようにするなど）、二日ほど前から覚え込みました。

また、テスト前日の夜は普段よりも早めに寝ました。個人的には、夜更かしして勉強して寝不足の状態でもテストに挑むよりも、多少不安でもしっかり寝て体調が万全の状態でも挑んだ方が、結果的に良い成績が得られるような気がします。

しかし、部活やバイトで忙しく、上記の取組を全て実践するのは難しいという人が多いと思います（私はどちらもしていなかったため時間がありました）。そういった方は、「講義を集中して受ける」という一点に重きを置くのがお勧めです。学んだ内容を自分なりに咀嚼しきって、少しでも疑問を覚える箇所があれば先生に質問する、という習慣を身に着ければ、テスト勉強に時間をかけなくても十分な成績が取れるのではないのでしょうか。



中国語 第1位 法文学部 M・Sさん

私は中国語を履修していましたが、授業の中で単語や文章を音読する時間がありました。そこで先生の発音を真似しながら自分で発音し、視覚と聴覚両方を使って単語を覚えるように意識していました。単語を見たり、書いたりするだけでなく、自分で読んだり聞いたりすることでより身につけやすくなるかと思います。文章を書く時には、中国語の場合は漢字だけ覚えて書くということもあるかと思いますが、発音を思い出して、自分で小さく発音しながら書くと私の場合は覚えやすかったです。授業内でのテストや、中国語検定では正しいピンイン表記を選ぶ問題が出題されると思いますが、日ごろから発音を意識していれば、このような問題を解くことになった時にもあまり困らずに済むかと思います。リスニングCDがついていれば、CDを活用しながらシャドウイングするのも良いと思います。リスニング問題は、問題文を読みながらCDの音声を何度も聞くことを繰り返せば、だんだんと聞き取りに慣れてくると思います。

中国語に限った話ではありませんが、発音だけでなく、文法も重要になります。授業内では重要な文法が一通り取り上げられますが、私はテキストに載っている例文を何度も書いて覚えていました。自分で言葉を置き換えながら例文を作るのも良いと思います。基本的な文系が覚えられたら何度も問題を解いて、間違ったところを復習するという流れを繰り返していけば、自分の苦手な部分が明らかになります。後はその部分を重点的に復習するようになれば、ミスが減らしていくことができると思います。

中国語 第2位 総合理工学部 S・Kさん

私は最初、第二言語を選択する際には特にどの言語にもあまり興味はなく、使用人口が多く、日本語にも近そうだというだけの理由で中国語を選択しました。しかし、中国語を学んでいく中で、私が取った授業を担当してくださった先生が授業で中国の文化について様々なことを教えてくださったこともあり、中国という国自体にも興味を持つようになりました。そして、中国に興味を持つと中国語の勉強も楽しくなるという良い循環ができていたと思います。

勉強方法については、やはり反復することが大切だと感じました。知識がほぼ0のところから始まる第二言語ですので、その言語の文字、単語、発音、文法など、たくさんを一気に覚えなさいといけません。週に2コマ分授業はありますが、授業の中だけでそれらを覚えていくことは正直難しいと思います。記憶に残していくためには何回も読んだり、書いたり、口に出したりして勉強していくしかありません。出された課題をするついでに復習したり、授業の前の日の夜に復習したり、なるべくたくさん、できれば毎日、少しでもいいので勉強していくといいと思います。どんなこともコツコツと継続していくことは大切です。

ほとんどの人が初めて触れる言語を学べるということで、「必修だから...」という心持で授業を受けるよりかは、楽しんで学んでほしいと思います。頑張ってください！



中国語 第3位 法文学部 I・Oさん

みなさんこんにちは。今回は、本当にありがたいことに初修外国語の一つである中国語の成績優秀者に選出していただいたため、私がどのような思いで、また、どのような方法で中国語を学習していたかということについて少しだけ伝えさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず始めに、どのような思いで勉強に取り組んでいたのかについてです。みなさんご存知の通り、日本では日々グローバル化が進み多くの国々と相互に影響を与えあう状況にあります。島根県でも多くの中国人の方々を見かける機会があるのではないのでしょうか。そんな状況の中で、英語が話せるうえにもう一言語話することができる、話すことができなくても少し理解することができるというのは社会に出た時に大きな利点になり得ると考え、熱心に取り組んでいました。

次に勉強方法です。私は特別、参考書を買ったり先生のもとで教えていただいたりしたわけではありません。教科書の予習をしたうえで授業に毎回出席し、先生の解説を聞くことで理解していました。中国語の授業では発音が重要となってくるため、授業中は恥ずかしくてあまり大きな声は出すことができていませんでしたが、予習の際に声に出して読むということをしていました。また、重要となってくるのは楽しく学ぶということだと思います。同じ外国語を選択している友達と一緒にテスト勉強をしたり、わからないところは一緒に発音したりすることで楽しく学ぶことができ、苦痛でなかったように思われます。

それぞれの人に合った勉強方法や熱意の注ぎ方があると思うので、参考程度に役に立つことができたらうれしいです。ありがとうございました。

韓国・朝鮮語 第1位 法文学部 A・Hさん

外国語学習で一番大事なのは、その言語に関して興味があるということであるように感じた。やはり、「知りたい、理解したい」という思いが無ければ、やる気が出ない。自分は運よく、興味がある言語を学習することが出来たため、今回このような結果を得られたと思う。「外国語学習で」と述べたが、これは何に関しても同じだと思う。外国語でなくても、好きなこと、興味があることを、まっすぐに頑張って進んでいってほしいなと思う。

学習については、一回一回の授業をきちんと受けることが外国語習得への力になったと思う。当たり前だが、外国語は使い慣れた言語ではないため、自分一人で学習しても、ちょっとしたニュアンスの違いなどは、うまく理解が出来ないことが多い。そのため、先生がいる授業という空間は、非常に有益であるように感じた。

韓国・朝鮮語 第2位 法文学部 K・Hさん

私は初修外国語で韓国語を履修しました。最初は文字の読み方や単語を覚えるのに苦労しましたが、授業で小テストがあったため前日に前回の内容を自分でよく確認しておくということをしていました。確認する際は、単語は書いたり読んでみたりして覚え、文法は教科書をよく読んで理解していました。また、中間テストや期末テストの際も範囲になっているところを同じ方法で勉強していました。勉強方法は人それぞれだと思いますが、私にはその方法が合っていたと思います。

最初は記号にしか見えなかった文字が、韓国語を学び始めて、知っている単語や読み方が分かり嬉しくなったため、それがやる気につながったと思います。皆さんも勉強を頑張ってください。



韓国・朝鮮語 第2位 人間科学部 A・Kさん

私は、ただ韓国ドラマが好きという理由で、韓国・朝鮮語を選択しました。授業があったのは1年間だけでしたが、それでも、ドラマを見ていて理解できる単語やセリフが増えていくことが嬉しかったです。興味があった分、韓国語の勉強は楽しく、優先してたくさん時間を割いてしまいました。韓国語でなくても、たまに自分の勉強している言語を見かけたりして、理解できた時の喜びは、意外と大きいものです。言語の勉強は、その国の文化の勉強にもなりますし、他の国の人と話せるようになったり、文字を読むようになったり、世界が広がるきっかけになると思います。せっかく1年間必修の授業として先生もいらっしゃる中外国語を学ぶことができるので、少しでも身につけてやろうと思って勉強してみてください。

大学は、言語だけでなく、自分の興味のある分野を突き詰めることができる環境だと思います。まだ見つかっていないなくても、どんな理由・きっかけでも、少しでも興味を持ったら様々なことに手を出してみると、何か発見があるのではないかなと思います。私も今は少しずつですが、これからも韓国語の勉強を続けたいと思います。

